

つくば市における「研究学園都市」をイメージさせる店舗名の分布 Spatial Distribution of the Shops' Name Imaging "Academic City" in Tsukuba

伊藤 文彬 (地球科学専攻)
ITO Fumiaki (Master's Program in Geosciences)

- 1. 目的:**本研究では、「研究学園都市」をイメージさせるような店舗を抽出し、その店舗が立地する空間的範囲と分布状況、そしてそれらに影響を及ぼす要因を明らかにすることを目的とする。
- 2. 研究手法:**まず GPS を用いて、店舗名に「研究学園都市」をイメージさせるような言葉のつく店舗をウェイポイントで記録した。具体的な指標は「学園」、「研究学園」、「学園都市」、「大学」の4つである。

次に取得したデータを Arc Map に取り込み、ZENRIN の Z-Map をベースマップとして分布図を作成した。そして、研究学園駅を中心に「多重リングバッファ」をかけ、駅と店舗との距離を求め、その関連性を考察した。なお研究対象地域は、つくばエクスプレスの「つくば駅」と「研究学園駅」および筑波大学の周辺地域とした(図1)。

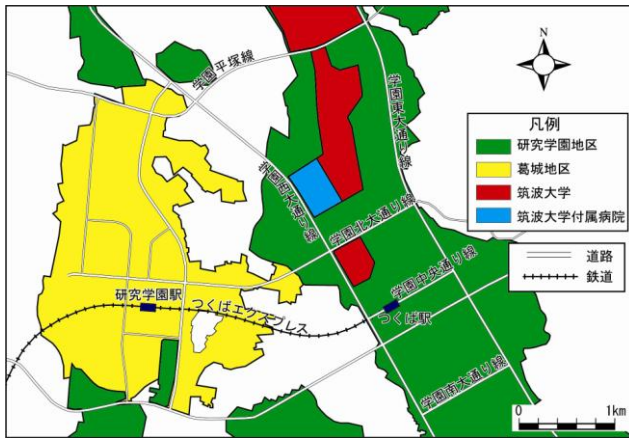


図1 研究対象地域

- 3. 結果・考察:**4つの指標の中で最も多かったのは、「学園」(57 店)であり、その店舗は広範囲に分布している(図2)。この範囲は、初期の研究学園都市開発地区(研究学園地区)と一致しており、「学園都市」の店舗もまた、同様の範囲で分布している(図1・図2 参照)。

次に多い指標となったのは、「研究学園」であり 32 店となっている。「研究学園」の店舗は、葛城地区内に立地しており、研究学園駅から 500m の範囲で集中して分布している(図1・図3参照)。つまり、「研究学園」の店舗は、「研究学園駅」の影響を強く受けていると考えられる。

最後に、「大学」の店舗は9店で、筑波大学周辺に分布している(図1・図4参照)。これらの店舗は、筑波大学からの距離が関係していると考えられる。

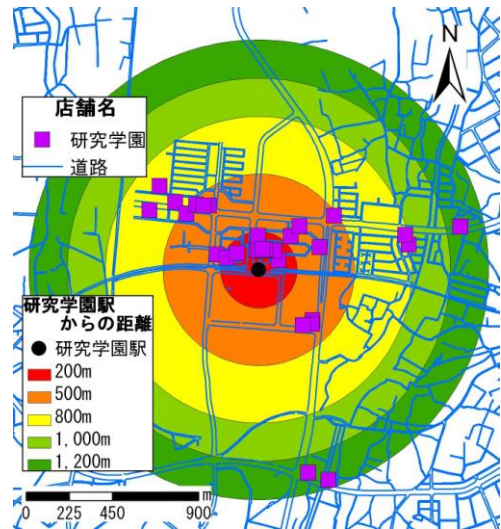


図3 店舗名に「研究学園」のつく店舗分布

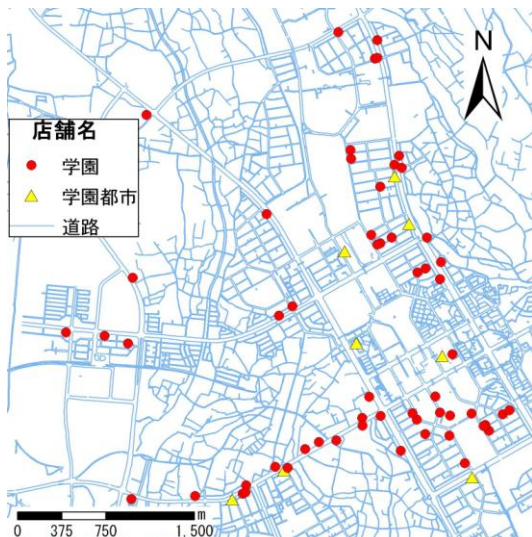


図2 店舗名に「学園」・「学園都市」のつく店舗分布

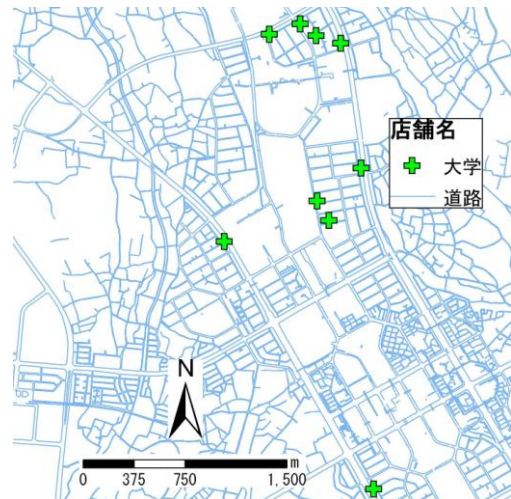


図4 店舗名に「大学」のつく店舗分布